アレルギー性疾患

主なアレルギー性疾患としては、
アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、
食物・薬物・金属アレルギー、アナフィラキシーなどがあります。
環境やライフスタイルの変化によって患者数は増加しており、今や日本人の
2～3割の人が、何らかのアレルギーに悩まされていると言われています。

健保だより

令和２年２月13日号

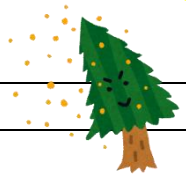
※ダイワボウ労働組合「組合新聞」第1042号
（令和２年２月10日発行）に掲載の
「健保とあなた」と同じ内容です

〖 アレルギーってなに？　なぜ起こる？ 〗

アレルギーとは、本来体を守るための免疫機能が本来は無害であるはずの
食べ物や花粉に対して過剰反応してしまい、その物質に対する攻撃を続け、炎症を起こすことを言います。

アトピー性皮膚炎
気管支喘息
アレルギー性鼻炎
食物アレルギー
薬物アレルギー
金属アレルギー
アナフィラキシーショック

◎ アレルギー症状が起こったら・・・



		軽　症	中　等　症	重　症
皮膚・粘膜	赤い斑点 じんましん	部分的	全身的	←
	痒み	軽い痒み（自制内）	強い痒み（自制外）	←
	口唇・眼瞼腫脹	部分的	顔全体の腫れ	←
消化器	口腔内・ 咽頭違和感	口、のどの痒み 違和感	咽頭痛	←
	腹痛	弱い腹痛	強い腹痛（自制内）	持続する激しい腹痛（自制外）
	嘔吐・下痢	嘔気、単回の嘔吐、下痢	複数回の嘔吐、下痢	繰り返す嘔吐、便失禁
呼吸器	咳・鼻水・ 鼻づまり、くしゃみ	間欠的な咳、鼻水、 鼻づまり、くしゃみ	断続的な咳、鼻水 鼻づまり、くしゃみ	持続する強い咳き込み、 犬が吠えるような咳
	喘鳴 呼吸困難		聴診上の喘鳴 軽い息苦しさ	明らかな喘鳴、呼吸困難、 チアノーゼ、呼吸停止 締め付けられる感覚 声がかすれる、嚥下困難
循環器	脈拍・血圧		頻脈、血圧軽度低下、 蒼白	不整脈、血圧低下、重度徐脈 心停止
神経	意識状態	元気がない	眠気、軽度頭痛、恐怖感	ぐったり、不穏、失禁 意識消失
対応		**注意深く症状を観察** ※症状が進行するようなら中等症の対応を行う	**病院受診** ※症状が進行するようなら重症の対応を行う	**緊急に病院受診！**

●特に、アナフィラキシーショックは命の危険があります。症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。

参考資料：食物アレルギー診療ガイドライン2016 ダイジェスト版